

令和5年度

小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

法人名	特定非営利活動法人 トオの家	代表者	鈴木 和代	法人・ 事業所 の特徴	トオの家理念 「心と和」身近な小さなことに誠実に親切に大切なのはどれだけ心を込めたかです。地域社会に寄り添って生活し、地域からも寄り添われるトオの家を目指します。理念に掲げているように、歳をとっても介護が必要になっても地域とのつながりが絶たれず生まれ育った町で生活できるように支援する地域に根差した事業所を目指します。
事業所名	小規模多機能型居宅 介護 トオの家二俣	管理者	平林 藍		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	1人	人	7人	人	人	人	人	3人	人	11人

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認	<ul style="list-style-type: none"> ・事業所評価をお渡しする際に、委員の方に説明する。 ・コロナ禍にあり、地域との交流や社会参加など制限が多い場面もあるが、地域に必要とされる施設になるために、どのような取り組みをしたらよいかを考える。 ・自己評価を行うことで、自己の仕事を振り返り、職員それぞれの課題や目標を明らかにし、成長につなげていく。 	<ul style="list-style-type: none"> ・事業所評価作成のためのスタッフミーティングを全員集合で開催することが困難。中心となるスタッフが職員全体の日常の様子を把握し、事業所評価をまとめている。 ・地域への取り組みについては公民館をお借りして、茶話会を始めている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・それぞれのテーマに真摯に向き合おうとする姿勢がみられる。 ・日々の利用者中心の介護支援に、スタッフの並々ならぬ努力があることに感謝します。 ・以前からの課題である防災マニュアル改訂と公表による地域協働に取り組んでほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・中核職員でのプレーン会議の定期開催。 ・トオの家が望む職員増や行動指針を明らかにし、職員全体に意識づける機会を持つ。
B. 事業所のしつらえ・環境	<ul style="list-style-type: none"> ・動画やリモートなどを活用し、施設内見学の機会をつくる。 ・身体拘束、虐待防止についての研修の職員の参加。 ・多目的トイレ使用中に職員が中に入ってしまった問題について、対策をおこなう。 	<ul style="list-style-type: none"> ・運営推進委員の方々への施設内見学の機会を作っていないが、利用希望の方など、事前に見学希望された場合は、対応していた。 ・身体拘束および虐待防止研修は金沢市の規定通りに年2回実施している。 ・多目的トイレについての対策が未実施である。 	<ul style="list-style-type: none"> ・事業所に鍵をかけることについて、なぜだめなのか疑問を感じる。安全面で必要と感じている。 ・多目的トイレ使用中に職員が入ってしまう問題について、いまだに解決していないが、入らなければいいだけの事。職員の意識が低すぎるのではないかと。 ・多目的トイレが物品庫になってしまっており、急ぎの時に入らざるを得ないことがある。 ・トイレ内にカーテンなどで仕切りを取り付けるだけで、プライバシーへの配慮が全然違うと思う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・トイレの問題については、職員の意識改革を図りながら、環境の見直しやおむつ類の管理方法の見直しの検討をする。 ・利用者及び家族へのアンケート実施。

			・施設内の様子がわかる写真などを掲示したらどうか。	
C. 事業所と地域のかかわり	・二俣、田島公民館等を活用した、地域住民向けのトオの家独自の取り組みを考え、実施していく。	・田島町、二俣町で茶話会を実施した。	・地域とのかかわりには積極的に取り組んでいる。 ・運営推進会議が地域の方の家や、地域の公民館を利用して行われるようになったことは、地域とのかかわりを意識した事業所の姿勢を感じる。	・田島町は茶話会を楽しみにしてくださっているので、毎月開催できるように開催日を固定してしまう。(第4水曜日) ・二俣町では茶話会を開催しても、集まらないので、どういったら地域の人と交流できるかを考える。家族や介護者の方向けの活動を考えてみてはどうか。 ・ボランティアの依頼やトオの家の行事(例:トオの家まつり)の開催を検討してみる。
D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取り組み	・アセスメントシートをご利用者さんやご家族さんにお渡しし、「以前の暮らし方」や「日常の様子」「地域資源」など、住み慣れた地域での暮らしの支援に必要な情報収集に努める。	・アセスメントシートの追加は活用できるまでにはできていない。 ・地域資源とは何か、わかっていない職員もいる。 ・訪問サービスの充実(配食、掃除、ごみ捨て、除雪など)で、自宅での生活が継続できている。	・買い物など、外出の機会を作っ てあげられたらよいと思う。	・地域資源とは何かを勉強する。 ・まずは、トオの家の周辺の町の地域資源について把握していく。 ・アセスメントシートの改訂。
E. 運営推進会議を活かした取り組み	・今後も地域の民生委員や町会長さん等地域住民の方を交えた運営推進会議を継続して行っていく。	地域の方へ運営推進会議を通して、意見交換や取り組み報告、事例検討などをおこなっている。	・毎回意見交換が活発に行えており、地域の方との距離が近いように感じる。	・このまま継続しておこなっていく。
F. 事業所の防災・災害対策	・防災マニュアルの改訂と公表。 ・避難訓練の確実な実施。 ・停電等、電気が使えなくなった場合の対策として、石油ストーブを準備しておく。	・新しい防災マニュアルは作成途中であり、未完成である。 ・避難訓練は年2回実施している。 ・石油ストーブは購入済み。	・防災マニュアルを早急に準備して公表してほしい。 ・二俣、田島に防災士がいるので、協力してもらったらどうか。 ・避難時の個別の介助方法を誰が見てもわかるようにしておいたほうが良い。	・防災マニュアルの改訂と公表。 ・避難訓練の確実な実施。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和 5年 11月 20日、21日

1. 初期支援 (はじめのかかわり)

メンバー 中曾、石田、澤邊、里谷、今村、西藤、今井、越山、藤田東、石川、樋口、中川、高島、重山、平林

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	未記入	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	2人	10人	4人	人	人	16人

前回の改善計画

- ・ 申し送りノートへのサインの徹底。ノートの使い方を見直す。
- ・ 朝礼時間を 10:10 に設定。朝礼に不在のスタッフには、当日のリーダーが申し送る。
- ・ 情報収集に対する、個々のスタッフの意識の向上。

前回の改善計画に対する取組み結果

申し送りノートは使い方の見直しが必要か、もう一度話し合いをする。
朝礼はその日の職員がそろった時点で行われている。時間設定しない方が良い。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	本人の情報やニーズについて、利用開始前にミーティング等を通じて共有していますか?	5	9	2		16人
②	サービス利用時に、本人や家族・介護者が、まず必要としている支援ができていますか?	5	8	3		16人
③	本人がまだ慣れていない時期に、訪問や通いで声掛けや気遣いができていますか?	4	11	1		16人
④	本人を支えるために、家族・介護者の不安を受け止め、関係づくりのための配慮をしていますか?	2	10	3		15人 未記入1人

できている点 200字程度で、できていることと、その理由を記入すること

- ・ 申し送りノートは必ず見ている。閲覧済みサインは抜けないようにしている。
- ・ ケアプランやケア会議をもとに本人のニーズなどは理解し、変更点などは朝礼やノートなどでスタッフ間で共有している。・気づいたことはその場でスタッフに話している。
- ・ 送迎時、本人や家族との会話に心掛けて、本人の状態や家族の思いを知ろうとしている。
- ・ 新規の利用者さんには不安を取り除くための声掛けや気遣いを意識して接している。
- ・ 本人、家族、地域の方への挨拶。・本人が興味を持っている事への会話。

できていない点 200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること

- ・ 利用前のミーティングに参加する機会が持てない。・前回の改善計画・不安を受け止める行動
- ・ 一人ひとりのサービスが把握しきれていない。・訪問に出ている朝礼に参加できないことが多い。
- ・ 朝礼に参加できなかったスタッフへの申し送りができていない。
- ・ (午後からの勤務のため) 朝礼にほとんど参加していないので、申し送りノートに書かれていないことが分からない。・手が回らない。

次回までの具体的な改善計画 (200字以内)

利用開始前の面談時に同席した職員が、そこで得た情報を職員へ伝達する。
朝礼に出ていない職員への情報伝達を確実にこなす。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和 5 年 11 月 20 日、21 日

2. 「～したい」の実現 (自己実現の尊重)

メンバー 中曾、石田、澤邊、里谷、今村、西藤、今井、越山、藤田東、石川、樋口、中川、高島、重山、平林

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	未記入	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?		11人	4人		1人	16人

前回の改善計画
 できる限り長く自宅を拠点とした生活を送ることができ、利用者及びご家族の「目標」を支援していくために、日々の生活の中でトオの家としてどのように関わればよいかを考え行動できるようになる。

前回の改善計画に対する取組み結果
 「本人の目標 (ゴール)」「当面の目標 (～したい)」とは何かを理解していない職員もいる。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計 (総人数)
①	「本人の目標 (ゴール)」がわかっていますか?	3	8	4	1	16人
②	本人の当面の目標「～したい」がわかっていますか?	3	9	3	1	16人
③	本人の当面の目標「～したい」を目指した日々のかかわりができていますか?	2	8	5	1	16人
④	実践した (かかわった) 内容をミーティングで発言し、振り返り、次の対応に活かしていますか?	4	6	5	1	16人

できている点 200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること

- ・はっきりと言葉に出来ない方が多いが、本人とのかかわりの中や、家族の思いを聞いて把握している。
- ・利用者と関わって得た情報や重要と感じた事はなるべくリアルタイムにスタッフと共有し対応について考えるようにしている。
- ・ケアプランの長期目標、短期目標に沿った支援ができている。
- ・本人が〇〇したいと言われたら、それに対応するようにしている。
- ・今日出来ていることが明日もできるように、脳トレや歩行の介助などをおこなっている。

できていない点 200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること

- ・担当外の方のことは、しっかり把握していない。
- ・日々の変化に気付けるようにしているが、長期間利用している方についてはゴールや目標があいまいになっている。
- ・ミーティングで発言できない。
- ・対応がうまくできない時がある。
- ・業務に追われてできない。
- ・忙しく流れ作業的になっている。
- ・家に帰りたと言われた時の対応ができない。

次回までの具体的な改善計画 (200 字以内)

自宅で最期を迎えたいか、トオの家で最期まで過ごしたいか、最期は病院等の医療機関や施設へと考えているか、利用者さんが今どう思っているか、現状でどの段階なのかを個々の職員が理解して日々の生活の中で関われるようになればよい。
 まず、「本人の目標 (ゴール)」「当面の目標 (～したい)」とは何かを理解する。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和 5 年 11 月 20 日、21 日

3. 日常生活の支援

メンバー 中曾、石田、澤邊、里谷、今村、西藤、今井、越山、藤田東、石川、樋口、中川、高島、重山、平林

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	未記入	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?		7人	7人	1人	1人	16人

前回の改善計画	アセスメントシートをご家族にお渡しし、以前の暮らし方やご本人の状態について記載してもらい情報収集する。 業務中に知った情報をメモに残し、個人ファイルに貼っておく。
前回の改善計画に対する取組み結果	以前の暮らし方や、本人についての必要な情報を聞き取る為のシートをいくつか準備しているが、活用するまでに至っておらず、実施出来ていない。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
①	本人の自宅での生活環境を理解するために「以前の暮らし方」が10個以上把握できていますか?	1	6	4	5	16人
②	本人の状況に合わせた食事や入浴、排せつ等の基礎的な介護ができていますか?	7	8		1	16人
③	ミーティングにおいて、本人の声にならない声をチームで言語化できていますか?	1	11	2	1	15人 未記入1人
④	本人の気持ちや体調の変化に気づいたとき、その都度共有していますか?	8	8			16人
⑤	共有された本人の気持ちや体調の変化に即時的に支援できていますか?	5	9	2		16人

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> ・初回アセスメントで聞き取りしている。・体調変化は、その場で共有している。 ・本人の状態など、フェイスシートを作成し、スタッフ間で共有できるようにしている。 ・毎朝、体調チェックしている。・気づいた情報は伝えている。 ・ADL、体調、口腔の状態に合わせ食形態を変更するなど即時対応して、間食できるようにしている。 	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> ・アセスメントシートを渡していない。活用できていない。 ・フェイスシートや申し送りノートの見直しできていない。 ・以前の暮らし方について10個以上把握できているか不安。・声にならない声を言語化できていない。 ・昔の話について、聞いていない。・新規の方の情報が把握しきれない。 ・排泄介助が自己流になっている。・体調変化に即時的に対応できていない。 	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
家族聞き取り用のアセスメントシートを仕上げる。 フェイスシートに以前の暮らし方についての質問の項目をつくる。 リーダーは、個人のケース記録だけでなく、日中の特記事項を申し送りノートに記入する。	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和 5 年 11 月 20 日、21 日

4. 地域での暮らしの支援

メンバー 中曾、石田、澤邊、里谷、今村、西藤、今井、越山、藤田東、石川、樋口、中川、高昌、重山、平林

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	未記入	合計（総人数）
①	前回の課題について取り組みましたか？	1人	4人	9人	2人		16人

前回の改善計画
3の改善計画と同様、アセスメントシートをお渡しし、ご家族に日々の生活の様子や地域資源について記載していただき情報収集する。

前回の改善計画に対する取組み結果
3、の項目と同様に、本人についての必要な情報を聞き取る為のアセスメントシートを準備しているが、活用するまでに至っておらず、実施出来ていない。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計（総人数）
①	本人のこれまでの生活スタイル・人間関係等を理解していますか？		11	3	2	16人
②	本人と、家族・介護者や地域との関係が切れないように支援していますか？	1	7	6	2	16人
③	事業所が直接接していない時間に、本人がどのように過ごしているか把握していますか？	1	6	6	3	16人
④	本人の今の暮らしに必要な民生委員や地域の資源等を把握していますか？		4	7	5	16人

できている点 200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
 ・訪問時や送迎時に家族がいる時に情報交換している。
 ・言葉の端々に出てくる昔の記憶の部分の話を大事に聞いている。
 ・家族が以前からしている事、家族ができる事、家族が判断する事は続けて頂けるように心がけている。
 ・自分が深く関わっている利用者や家族、泊りの利用者に関しては、理解を深める事ができている。
 ・連絡ノートを活用し、帰宅後のことを把握している。

できていない点 200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
 ・これまでの事を本人から聞いても、本当の事がどうか分からず、家族に確認する機会もない。
 ・事業所が接していない時間帯のことは全然分からない。
 ・民生委員さんや地域とのつながりは把握していない。
 ・送迎をしていないので、家族や家のことなど把握しきれていない。
 ・求めてこられる事はなるべく対応していきたいと思う反面、家族との機会を減らしているのではと思う。
 ・お渡しするアセスメントシートを仕上げていない。

次回までの具体的な改善計画 (200字以内)
 家族聞き取り用のアセスメントシートを仕上げる。
 地域資源とは何かを勉強する機会を持つ。
 まずは、トオの家の周辺の町の地域資源を把握していく。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和 5 年 11 月 20 日、21 日

5. 多機能性ある柔軟な支援

メンバー 中曾、石田、澤邊、里谷、今村、西藤、今井、越山、藤田東、石川、樋口、中川、高島、重山、平林

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	未記入	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか？	9人	7人				16人

前回の改善計画	「通い」「訪問」「宿泊」は本人や家族の生活や状態に合わせ柔軟に対応できており、本人のその日の状態変化に合わせた対応もできているので、今後も継続していく。
前回の改善計画に対する取組み結果	「通い」「訪問」「宿泊」は本人や家族の生活や状態に合わせ柔軟に対応できている。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	自分たち事業所だけで支えようとせず、地域の資源を使って支援していますか？	3	8	3	1	15人 未記入1人
②	ニーズに応じて「通い」「訪問」「宿泊」が妥当適切に提供されていますか？	10	5	1		16人
③	日々のかかわりや記録から本人の「変化」に気づき、ミーティング等で共有することができていますか？	7	7	1		15人 未記入1人
④	その日・その時の本人の状態・ニーズに合わせて柔軟な支援ができていますか？	7	6	2		15人 未記入1人

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> ・体調や家族の都合に合わせ、通い泊り訪問は柔軟に対応できていると思う。N 氏については特にその効果が表れていると思う。 ・トオの家ができないサービスは他事業所に依頼し支援できている。 ・本人の変化に気付いた時は朝礼で共有している。 ・これだけ柔軟に対応している施設は他にないと思う。スタッフの努力のおかげ。 	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> ・地域資源との関わりが少ない。 ・事業所だけで対応していることが多い。 ・変化に気づきミーティングするまでは出来ているが、共有しスタッフ全員で同じように支援することが出来ていない。周知徹底ができていない。その時のスタッフでしか共有できていない。 ・立場的に地域に支援をお願いすることは難しい部分もある。 	

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
<p>各利用者さんのその日の状態や変化を出勤したスタッフが確認できるようなものを準備する。(ホワイトボードなど)</p> <p>コミュニケーションスキルの勉強会を外部講師を招いておこなう。</p>	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和 5年 11月 20日、21日

6. 連携・協働

メンバー 中曾、石田、澤邊、里谷、今村、西藤、今井、越山、藤田東、石川、樋口、中川、高嶋、重山、平林

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	未記入	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	5人	7人	1人	3人	人	16人

前回の改善計画	地域住民向けの、二俣や田島の公民館を活用したトオの家独自の取組みを考える。
前回の改善計画に対する取組み結果	二俣、田島での茶話会を開始したが、まだ順調に運営出来ていない。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	その他のサービス機関(医療機関、訪問看護、福祉用具等の他事業所)との会議を行っていますか?	3	5	1	7	16人
②	自治体や地域包括支援センターとの会議に参加していますか?	3		4	8	15人 未記入1人
③	地域の各種機関・団体(自治会、町内会、婦人会、消防団等)の活動やイベントに参加していますか?	5	2	5	4	16人
④	登録者以外の高齢者や子ども等の地域住民が事業所を訪れますか?		3	5	8	16人

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> 避難訓練に参加している。地域の消防団の方にも来ていただいた。 地域の草刈りに参加した。 他事業所との担当者会議や運営推進会議は実施している。 茶話会で地域との交流がある。 会議には参加していないが、議事録に目を通し、内容を把握できるようにしている。 	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> 地域住民や子供は事業所を訪れない。 業務上、参加できるスタッフと出来ないスタッフがいる。 	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
<p>田島町は茶話会を楽しみにしてくださっているので、開催日を固定してしまう。(第4何曜日とか)二俣町では家族、介護者向けの活動を考える。どうやったら集まってもらえるか検討。地域の方との交流する機会を持つために、ボランティアさんなどを依頼してみるなど、トオの家の行事を考える。トオの家まつりの開催計画。</p>	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和 5 年 11 月 20 日、21 日

7. 運営

メンバー 中曾、石田、澤邊、里谷、今村、西藤、今井、越山、藤田東、石川、樋口、中川、高島、重山、平林

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	未記入	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	1人	9人	4人		2人	16人

前回の改善計画

① 地域に必要とされる拠点であり続ける事と、トオの家の持続のために、地域密着施設として立ち上げた時の決意と理念を、経営者をはじめとした職員全体で再確認する。

② トオの家を利用していない高齢者及びその家族が抱える不安や困りごとなどの現状把握および小規模多機能型居宅介護の内容を知ってもらう為の取組みを行う。

上記に関する話し合いの機会を設けて、当事者への訪問や地域資源の活用など、より具体的な取組みを考え、行動に移すことで、トオの家の安定した運営につなげ、地域に信頼される施設となり、職員が生き生きと働ける職場環境の向上を目指す。

前回の改善計画に対する取組み結果

運営推進会議に参加して下さる方々の協力により、地域住民に向けての活動の「茶話会」を始めることができた。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
①	事業所のあり方について、職員として意見を言うことができていますか?	1	10	1	3	15人 未記入1人
②	利用者、家族・介護者からの意見や苦情を運営に反映していますか?	3	7	3	1	14人 未記入2人
③	地域の方からの意見や苦情を運営に反映していますか?	3	3	7	1	14人 未記入2人
④	地域に必要とされる拠点であるために、積極的に地域と協働した取組みを行っていますか?	1	7	5	1	14人 未記入2人

できている点 200字程度で、できていることと、その理由を記入すること

- ・地域の方のお宅に訪問したり、支援センターの勉強会で事例を発表したり、地域包括や病院のMSWに訪問することでトオの家の活動を知ってもらい、対象となるような在宅生活を希望されている利用者さんを紹介していただいた。
- ・朝礼での理念唱和で、トオの家の活動を理解して働いている。
- ・利用者や家族からの苦情は、重大性が伝わるようにできる限り口頭で伝えるようにしている。
- ・トオの家の前や道路際の掃除をして、見苦しくない様にしている。
- ・自分自身は地域の為に何かしているつもりはないが、地域の方から居てくれて良かったと声をかけられることがある。

できていない点 200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること

- ・利用者や地域からの苦情や意見を把握できていない。
- ・事業所の在り方について、意見を言えていない。
- ・運営という視点がない。
- ・茶話会を実施しているが、地域に必要とされる拠点とまではなっていない。

次回までの具体的な改善計画 (200字以内)

利用者および家族へのアンケート実施。
 中核となる職員とのプレーン会議の定期開催。
 トオの家が望む職員像、行動指針を明確にし、職員全体に意識付ける機会を持つ。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和 5 年 11 月 20 日、21 日

8. 質を向上するための取組み

メンバー 中曾、石田、澤邊、里谷、今村、西藤、今井、越山、藤田東、石川、樋口、中川、高嶋、重山、平林

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	未記入	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	6人	7人	1人	2人		16人

前回の改善計画
職場内、職場外研修の実施や参加に積極的に取り組む。

前回の改善計画に対する取組み結果
3 か月ごとの全職員参加の研修会の開催、各職員の職場外研修の参加。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	研修 (職場内・職場外) を実施・参加していますか	6	7	1	2	16人
②	資格取得やスキルアップのための研修に参加できていますか	4	7	3	2	16人
③	地域連絡会に参加していますか					
④	リスクマネジメントに取り組んでいますか	3	9	2	1	15人 未記入1人

できている点 200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること

- ・3 か月に1回、施設内全体研修会を開催している。
- ・自分で勉強する機会を持っている。
- ・ヒヤリハットに目を通して気を付けている。

できていない点 200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること

- ・職場外研修には参加していない。
- ・スキルアップの勉強をしていない。

次回までの具体的な改善計画 (200 字以内)

全体研修会の定期開催の継続。
職場外研修、資格取得やスキルアップのための研修参加の機会を提供する。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和 5 年 11 月 20 日、21 日

9. 人権・プライバシー

メンバー 中曾、石田、澤邊、里谷、今村、西藤、今井、越山、藤田東、石川、樋口、中川、高畠、重山、平林

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	未記入	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	1人	8人	6人	1人		16人

前回の改善計画	多目的トイレ使用中にスタッフが入っていく原因について再度話し合い、対策をする。 業務日誌の管理については、今後 ICT 導入によって変化していく可能性が大きい。システムの導入に伴い管理体制も検討していく。
前回の改善計画に対する取組み結果	多目的トイレの環境の見直し中。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	身体拘束をしていない	11	5			16人
②	虐待は行われていない	9	7			16人
③	プライバシーが守られている	5	7	4		16人
④	必要な方に成年後見制度を活用している	3	3	2	1	9人 未記入7人
⑤	適正な個人情報の管理ができている	5	7	4		16人

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> ・アンガーマネジメントの学習をしたことで、自分の感情をコントロールする方法が少しは分かってきたので、拘束や虐待に発展するような場面は、より少なくなっている。 ・守秘義務は守っている。 ・身体拘束、虐待が行われるような施設の雰囲気ではない。 	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> ・多目的トイレでのプライバシーは環境が変わらない限り守れない。現在準備中。 ・拘束や虐待にはなっていないが、不適切ケアになってしまっている場面もあるかもしれない。 ・利用者さんへの言葉遣いなどに対して、不適切な時にスタッフ間で注意できる関係性ができていない。 ・申し送りノートやファイルなど、利用者さんが実際に触れているところを見かけることがあった。 	

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
<p>高齢者虐待防止研修会を定期的で開催し、身体拘束や虐待防止、プライバシーの侵害について学ぶ機会を設ける。 多目的トイレの環境を整える。</p>	